

KiKiの広場

2021年12月 1日

cafe NO.134
KiKi



いつもはあっという間に1年が過ぎ、という感じで12月を迎えますが、今年は短いような長いような、どうも複雑です。何とか無事にオリンピックが開催され、選挙もあって日本の顔が変わり、そんな中コロナの為、臨時休館となり、ようやく落ち着きを取り戻したと思ったら、世界では新型のコロナ株が出て……。昨年同様、いろんなことがありすぎて、むしろようやくというか何とか、2021年が終わろうとしているという感じです。

マスクや消毒の生活に慣れてきつつありますが、できればマスクなしの生活に戻りたい、みんなと大きな声を出して笑いあいたい、ほんとにささやかな願いですが、来年は小さな願いが少しずつでも叶うことを信じて、頑張っていきたいと思います。みなさま今年も大変お世話になりました。来年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

12月の予定	
休館日	14日(火)
定休日	毎土・日・月曜日
年末年始 休み	25日(土)～ 1月3日(月)

「気まぐれシェフのKiKi オリジナルシフォンケーキ」
「クリスマスシフォンケーキ～ベリーソース添え～」 300円



ふわふわのシフォンケーキの山に、雪のようなたっぷりのクリームと、甘酸っぱいベリーソースを一緒につけて召し上がれ！
食べたならサンタさんが来てくれるかも！？

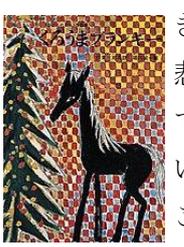


今月のお気に入り&本棚・・・「いろいろなクリスマスを楽しもう！！」

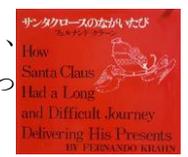
～「サンタクロースのしろいねこ」「クリスマスプレゼント」「くろうまフランキー」「サンタクロースのながいたび」などなど～



「サンタクロースのしろいねこ」は、サンタさんが飼っている白いねこ「スノウ」のお話です。イラストは猫を描く現代画家の中でも、最も優れた1人と評されているアン・モーティマー。「こねこのみつけたクリスマス」や「チョコレート屋のねこ」など、猫が出てくる作品が多くあります。お話も可愛いですが、とにかくため息がでるほど美しいと言われる絵が素敵です。猫好きの方にはたまらない絵本です。「クリスマスプレゼント」の作者は、ズズキコージさん。冬のヨーロッパを旅して、本場の街並みとクリスマスのイメージが融合してできあがった作品だそうです。登場するものは全て、ものでも何でも心があり魂があるという、ズズキコージワールドに惹き込まれていきます。



堀内誠一さんの初の絵本作品の「くろうまフランキー」は、切なくて悲しいけれど、サンタクロースに救われたブランキーの幸せそうな最後のシーンに、心からほっとして温かい気持ちになります。「サンタクロースのながいたび」は、クリスマスのサンタクロースの1日を描いた字のない絵本です。絵の色は黒とサンタの服の赤のみで、左ページは全て緑色という、こだわりの作りになっています。サンタを始め、登場人物たちはなかなか個性的で、「えっこれが天使？」というような天使も登場します。(^_^;) 見てのお楽しみです。♡



11月の終わりにスタッフみんなで、机や椅子など備品の点検・修理をしました。10年も経っていれば、あちこちに傷や破損が見られました。ネジがことごとくとれている机もあり、学生スタッフ曰く、「満身創痕の机」が結構ありました。(;>_<) それでもネジの補充をしたり、あわないネジでも色々工夫してつけ直してくれたりしたので、みんな何とか使えるようになりました。さすがヒストリアの学生スタッフ諸君は優秀だと、つくづく感心しました。パソコン関係もそうですが、聞けば答えてくれる、頼めば何とかしてくれる、本当に頼もしい存在です。

ただ、最近、館内のいろいろなものが、経年劣化の為に故障するということが続いています。機械は修理や新しいものへの交換ができますが、私たち人間は大丈夫かな？とちょっと心配になります。新しい年に向けて、一人一人が仕事力を上げられるよう、自分自身のネジを巻き直して努力していきたいと思っています。

